



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：米国の制裁措置に対するイラン国営銀行の反応 (11月3-5日付現地報道)

10月25日に米国政府が発表した新たな対イラン制裁措置の対象となったイラン国営銀行の反応。

1. メラット銀行の声明(3日付ロイター)

- (1) メラット銀行は、ワシントンに同行への制裁を発動せしめた米側の主張を否定し、米当局に対する法的措置を取る権利を保有する。
- (2) メラット銀行に対する米国の最近の主張は、全く正当化出来るものでなく、法的根拠もなく、単に非合法且つ根拠のない事由に基づくものである。
- (3) メラット銀行は、同行の業務は常に経済活動のみに限定してきており、如何なる非合法活動にも同行が関与したとの証拠はひとつも存在しなかった旨を強調する。最終的にメラット銀行は、何らかの損失及び損害が生じかねないことから、同行の他の権利を侵害することなく、米政府及び他の米国関係当局に対する法的措置を取る権利を留保する。

2. メッリ銀行の声明(5日付イランデイリー)

- (1) メッリ銀行は、同行が疑惑を与えるような金融活動に関与しているとの米財務省の主張を断固として否定する。
- (2) メッリ銀行は、こうした主張は同行が培った名声を毀損する為に、政治的に動機付けられたものと位置付け、金融市場のみならず他の市場や世界経済にも不安定な影響を与える可能性があるかと警告する。
- (3) 同行の業務は常に透明であり、ほぼ80年間の間、国内及びプレゼンスを有する海外における制度上の要求を常に厳格に遵守してきた。
- (4) 米財務省は、10月25日にメッリ銀行に対して示した非難を裏付けるような証拠を何ら言及、提示出来ていない。